

④ 内容・方法

ア 基調提言

「生涯学習推進への提言」

棚倉町公民館長 江原靖男

イ シンポジウム

「生涯学習のまちづくりをどう進めたらよいか」

埴町立図書館長 近藤 ヤエ

大信村公民館長 内藤 良夫

表郷村社会教育指導員 鈴木きいの

ウ 分科会（研究協議）

- ・「生涯学習のまちづくりを推進する組織整備の進め方」
- ・「家庭・学校・地域の教育機能の連携の進め方」
- ・「ライフサイクルに応じた学習機会の提供の在り方」

(4) 会津地区

① 期 日 10月20日(水)

② 場 所 熱塩加納村公民館

③ 参加者 180名

④ 内容・方法

ア 講演

「生涯学習のあり方」

国立磐梯青年の家所長 馬上眞平

イ 提言

「生涯学習のまちづくりを推進する組織整備」

熱塩加納村生涯学習推進会議副会長 原 市英

「ライフサイクルに応じた学習機会の提供」

金山町教育委員会社会教育係主査 押部清夫

「生き生きと学び合う生涯学習の実践」

福島県長寿学園修了生 東條節夫

ウ 分科会（研究協議）

提言のテーマに沿った3分科会での研究討議

(5) 相双地区

① 期 日 11月24日(水)

② 場 所 原町市文化センター

③ 参加者 160名

④ 内容・方法

ア 講演

「生涯学習まちづくりのポイント」

いわき明星大学人文学部専任講師 神山敬章

イ パネルディスカッション

「生涯学習推進本部・推進会議の機能と役割」

「地域住民の計画・実施による生涯学習の地域づくりの工夫」

「生涯学習指導者の発掘と活用のあり方」

パネラー

原町市生涯学習課長 遠藤力哉

飯館村公民館総務係長 佐藤俊雄

双葉町公民館社会教育主事 橋本 仁

ウ 学習成果作品展示

管内各市町村における学習成果作品の展示・鑑賞

2 「ふくしま・フレッシュ・ふれあいデー」普及事業

(1) 目 的

毎月第2土曜日を「ふくしま・フレッシュ・ふれあいデー(略称:3Fデー)」とし、子どもたちの豊かな人間形成を図るとともに、趣旨に賛同する関係機関・団体、民間事業者等の協力を得ながら、福島県生涯学習推進本部が主唱者となって、家族や地域等とのふれあいを促進するための普及活動を展開し、地域に根ざし世界に伸びる人づくりと豊かな生涯学習社会の形成を図る。

(2) 普及・啓発に関する事業

① 各種広報媒体を活用した普及・啓発(随時)

ア ラジオスポット放送、広報紙等による普及・啓発

イ 県青少年施設、文化施設でのチラシ等の配布

ウ 新聞、テレビ、ラジオ等への報道依頼

エ 市町村、市町村教育委員会広報紙への掲載依頼

オ 各種団体・機関等へのチラシの配布とポスター掲示依頼

② 街頭キャンペーン(9月の第2土曜日を中心に)

ア 第1次街頭キャンペーン(9月11日、12日)

主なイベント

相 双 原町一小マーチングバンド演奏、太田小親子なわとび

いわき 上平子どもじゃんがらクラブ

イ 第2次街頭キャンペーン(9月18日、19日)

主なイベント

県 南 泉崎和太鼓クラブ

会 津 緑町子供会(おはやし)

③ 他部局での生涯学習関連事業における普及・啓発

ア 学校訪問「地球キャラバン」(国際課)

イ シルバーフェスティバル(高齢福祉課)

ウ その他

(3) 少年自然の家での主催事業等、活動機会の拡充に関する事業(随時)

(4) 成果の発表や考える場の拡充に関する事業

① 3Fデー体験に基づく作文・絵画募集

ア 募集期間 7月1日(木)～9月24日(金)

イ タイトル「私の心に残るおじいちゃん、おばあちゃん」

ウ 応募点数 絵画510点、作文691点 計1,201点

② 作文・絵画の発表、展示

ア 期 日 10月9日(土)～10日(日)

イ 場 所 あづま総合運動公園

③ 入選者に対する表彰及び賞状伝達

ア 期 日 2月15日(火)

イ 場 所 郡山市民文化センター

ウ 入選者